

ARISTOLOCHIA CLEMATITIS (ウマノスズクサ)

アリストロウキア クレマティティス Arist. Arist=better,locheia = delivery (植)ウマノスズクサ 粉碎 地下部分から単離された酸も重要で毒物・興奮剤(食細胞にも)、黄色で苦い硝酸族

部位

女性器官。泌尿器官；腎臓。静脈系。皮膚。

モダリティー (悪化・好転要因)

悪化：生理前と特に生理後。体を前に曲げる。冷たい食べ物。光り。読書。分泌物の抑圧。

好転：涼しい空気；外気。動作。月経分泌の流出。蒸し蒸しする湿布。寒さ。

主症状

M1－女性のレメディー。「この薬は、我々に、Sep.、Puls.、Arn.の混成物の様な印象を与える、もしこの様に表現する事が許されるのなら、それは、すでに慣れ親しんでいる何らかの点から見ると、何か新しく、異なっていて、まだよく知られていないものである。肉体的症状は Puls.に著しく似ている。精神面と性格は Sep.に近いように思われる。私自身の患者に中では……最も目をひく事は、極端なムードを持っているという事である……著しい意気消沈、又はそれとは逆に、不自然で常軌を逸した陽気さや機嫌の良さがあり、それらが交互にあったりする…又、同人物において極端に外向的だったり内向的だったりもする……彼らは Puls.の様に簡単に慰められる事はない、むしろ鬱状態にいる時は、慰める事はできず不機嫌である、しかし Sep.の様に慰めで悪化する事はない……モダリティーは Puls.のパターンに非常に類似している。日常のオフィスワークにおいて最初に考えられるのは Arist.である、他のどんなレメディーを与えるよりも前に (明らかにそのレメディーを示していなければ)、平均的な膀胱炎の症例においてはもちろん、抑圧された又は不十分な生理 (その様なものは通常 Puls.と関連している) におけるどんなケースにおいても。傷薬としては、Calen.より優れている様に思われる」(Whitmont)。

M2－精神的な鬱状態；孤独な感じがする、又は将来を恐れる；社交(つき合い)を拒む、>外気、>月経によって。

G1－朝の午前2－4時に悪化；寒さで悪化；食べ物、ミルクで好転；サワークラフトで悪化；熱さで好転；肥満体。ピル以来良くならない。

G2－生理がない、短い、遅い。血塊を伴う黒い血。心身の状態<生理の前後、はっきりと>生理中。喉頭炎後の子宮のトラブル。乳房の痛みと硬い感じ。生理前に脚が重い(>生理)。生理前に指や脚がむくむ。生理前に静脈瘤が腫れたり膨張したりする。

G3－女性器官：茶色い分泌物、水っぽい。外陰部の湿疹。官能的な痒さ(>帯下)。生理前に悪化。生理中に好転。生理後に悪化。

P1－頭痛、拡散した、朝起床時；>外気；<体を前に曲げる；>冷たい湿布；>鼻感冒の始まり；生理、後。

P2－眼：流涙<明るい光、<読んでいる。焼ける様な痛み<明るい光、<読んでいる。

P3－口の端がひび割れている。

P4－朝の鼻感冒、>起床して、外気の中にいる。

P5－ミルクを飲む事から下痢になる。

P6－腎臓と膀胱の痛みが、頻繁な排尿と共に。

P7－声枯れ&扁桃炎。

Indications (適応するもの)

Ω 泌尿器官（過敏、炎症、膀胱炎、腎盂炎、多尿症）。

Ω 女性生殖器（卵巣、無月経、希発月経、月経過少、閉経期の関節炎、不妊症、妊娠）。

Ω 男性生殖器（前立腺炎や副睾丸炎）。Puls.に似ている。

Ω 胃腸器官（大腸炎、下痢が、裏急後重や終わっていない感じを伴う）；Merc.に似ている。

Ω 傷つける（傷に影響を与える、水（火）ぶくれが、機械的なものに起因する一船を漕いだり、乗物に乗ったり、等）。

Ω 皮膚（慢性や急性の湿疹、皮膚炎、感染、潰瘍）。

Ω 静脈（拡張蛇行静脈、静脈炎）。

Ω 鼻と副鼻腔。

Ω 関節の痛み＞動作。

Ω 心身の患いは、鬱病の傾向を伴う、特に閉経期の女性（Sep.）。

Ω 月経前の不眠&落ち着きのなさ、下腹部の鬱血。

Ω 遺尿症、特に老いた女性に。

Ω 若い女性の先端チアノーゼ。

情報ソース：

ジュリアン：ホメオパシー事典 MM、ジェームズ・ステフェンソンの MM&Rep. より